

ごうつ

市議会だより

江津東小学校 6年 渡利友菜



2022.2
No.150

江津東小どんぐり山にて(江津東小学校6年生)

令和3年度 一般会計補正予算(第8号)

10月1日 専決処分

承認

8月の災害復旧事業にかかる補正。

補正予算額 **7821**万円(補正後総額163億8805万円)

令和3年度 一般会計補正予算(第9号)

10月18日 臨時会

可決

新型コロナウイルス感染症対応にかかる補正。

補正予算額 **2億900**万円(補正後総額165億9705万円)

新型コロナウイルスワクチン接種事業

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施。
3273万円

ごうつ地域応援券事業

金券(3000円分)を市民全員に配布して、商業活動を応援する。
7953万円

令和3年度 一般会計補正予算(第10号)

新型コロナウイルス感染症対策費や災害復旧事業にかかる補正。

補正予算額 **1億9335**万円(補正後総額167億9040万円)

可決

財産管理費

新庁舎建設にともなう残土処理工事費。
2763万円

委員質疑

- 問** 残土処理をする場所はどこか。
答 受注業者による自由処分として、とくに市から指定した処分場所は考えていない。

現年発生公共土木施設災害復旧費



桜江町田津

6090万円

委員質疑

- 問** 年度内に復旧事業は完了するのか。
答 入札が終わっていないので年度内完了は難しい。

令和3年度 一般会計補正予算(第11号)

子育て世帯臨時特別給付金事業と個人番号カード交付事務費にかかる補正。

補正予算額 **1億7686**万円(補正後総額169億6727万円)

可決

委員会



総務民生委員会

● 江津市が民の意見をもっと活発に取り上げることがを希望する(陳情)

広報のあり方を今までよりも一歩進めるとともに、市民のみならず、江津にかかわるすべての人々にわかりやすい、ともに動く「協働の江津市」を実現していただきたい。

質疑

問 本市への意見は即日に戻しているのか。

答 即日に回答できないものもあるが、できる限り早急に対応している。

● 公の施設に係る指定管理者の指定

9施設の指定管理者を定めるもの。

質疑

問 桜江ライスセンターおよび江津市乾燥調製施設の指定管理期間が1年なのはなぜか。

答 施設の今後のあり方を考える中で、統合・廃止を含めた検討を行うため管理期間は1年とした。

● 過疎地域持続的発展計画を定めること

過疎計画を策定し各種事業において、有利な地方債などの財政支援措置の活用を図るもの。

質疑

問 過疎対策事業債から対象外となったソフト事業の扱いは。

答 別財源により対応していく。

建設経済委員会

● 燃料資材等価格高騰における中小業者への支援(陳情)

島根県に対して軽油引取税の免税要件の緩和および対象事業の拡充を求めるもの。

質疑

問 事業者から価格高騰に対して、市へ要望・意見はあるか。

答 今時点では、直接うかがっていない。

● インボイス制度中止(陳情)

2023年10月1日から導入される『消費税インボイス制度』の中止を求めるもの。

質疑

問 インボイス制度が導入されれば市内事業者にどのような影響がでるのか。

答 免税事業者が、課税事業者との取引から排除される恐れや、新たな納税負担・事務負担が出てくる。

● 国民健康保険条例の一部改正(条例)

産科医療保障制度の掛け金の見直しをふまえ、出産育児一時金を40万4000円から40万8000円に引き上げるもの。

● 乳幼児医療費助成の一部改正(条例)

乳幼児医療費助成の対象者に、新たに中学生も加える。(通院1000円/月、入院2000円/月、調剤薬局負担なし)

質疑

問 今までできなかったことが、財政をどうやりくりしてできるのか。

答 今後の予算編成の中で整理をしていくもので今の時点では説明できない。

議決結果【第5回議会臨時会】			坂手	植田	森川	鍛冶	多田	山根	森川	藤間	森脇	石橋	河野	藤田	田中	永岡
			洋介	好雄	和英	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	義明	悦朗	孝義	正行	厚	直文	静馬
議案番号	件名	議決結果														
執行部提案	承認第13号 専決処分報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号 令和3年度島根県江津市一般会計補正予算(第9号)を定めることについて	可決	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

議決結果【第6回議会臨時会】			坂手	植田	森川	鍛冶	多田	山根	森川	藤間	森脇	石橋	河野	藤田	田中	永岡
			洋介	好雄	和英	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	義明	悦朗	孝義	正行	厚	直文	静馬
議案番号	件名	議決結果														
執行部提案	議案第55号 江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号 市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○

議長職は表決権なし

議決結果【第7回議会定例会】			坂手	植田	森川	鍛冶	多田	山根	森川	藤間	森脇	石橋	河野	藤田	田中	永岡
			洋介	好雄	和英	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	義明	悦朗	孝義	正行	厚	直文	静馬
議案番号	件名	議決結果														
執行部提案	議案第58号 江津市まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号 江津市有温泉浴場設置及び管理に関する条例の制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号 江津市温泉給湯条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号 江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号 公の施設に係る指定管理者の指定について	〃	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第64号 江津市過疎地域持続的発展計画を定めることについて	〃	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	議案第65号 辺地に係る総合整備計画を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第66号 辺地に係る総合整備計画の変更について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第67号 市道の路線の廃止について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第68号 市道の路線の認定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第69号 令和3年度島根県江津市一般会計補正予算(第10号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第70号 令和3年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第71号 江津市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号 令和3年度島根県江津市一般会計補正予算(第11号)を定めることについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	陳情第5号 江津市が民の意見をもっと活発に取り上げることがを希望する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第6号 江津市議会のネット配信を希望する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情第7号 燃料資材等価格高騰における中小業者への支援に関する陳情	不採択	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●
	陳情第8号 インボイス制度中止を求める陳情	不採択	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●

議長職は表決権なし

本会議における賛成・反対意見

議案第57号 | 職員給与条例の一部改正

反対 多田 伸治



人事院勧告に従い市職員の期末手当を引き下げたものだが、勧告は「必ず従うもの」ではない。手当引き下げは消費購買力を低下させ、市内経済を冷や込ませる。また、「公務員が下げたのだから」と民間の賃金にも悪影響をおよぼす。しかも、引き下げは処遇が低く抑えられている非正規職員にもおよび、彼らを「小遣い稼ぎに来ている」と切り捨てた。そういった理由から引き下げに反対。

本会議における賛成・反対意見

陳情第7号 | 燃料資材等価格高騰における中小業者への支援

反対 森脇 悦朗

軽油引取税の課税免除制度については、免税の対象となる事業および用途は、地方税法などの法令において詳細に定義されている。合わせて条例などで範囲の拡大も禁止されており、県ではできない。また、現在免税軽油の使用を禁止されている道路上を走行するトラックなどが免税になると、道路整備について車両をもっていない人にも負担を求めることにつながり、税の公平性が保てなくなるため陳情に反対。

賛成 多田 伸治

燃料費高騰から、中小業者支援として県へ軽油引取税免除の対象事業の緩和・拡大を要望してほしいとの陳情だが、コロナ禍も踏まえ厳しい経営状況の中小業者を守ることは、市内経済を守ることにもつながる。免除対象が法律で定められており、県で緩和・拡大できないのであれば、県への要望を「国へ免除対象を拡大するよう求める」とすれば問題はない。市民の暮らしを守るため陳情に賛成。

不採択

陳情第8号 | インボイス制度の中止

反対 坂手 洋介

インボイス制度の導入により、事業者の事務処理作業は複雑となり、大きな負担となることは理解できる。現在のコロナ禍における経済状況や国民に対して幅広い周知や理解の促進など、一旦インボイス制度の導入を凍結し、しっかりと準備していくことは必要。しかし、陳情はあくまで制度の中止を求めるものであり、消費税の透明性や公平性、信頼性を高めるため必要な制度であると考え、陳情に反対。

賛成 多田 伸治

2年後に導入される消費税のインボイス制度の中止を求める意見書を国へ提出するよう求める陳情。インボイス制度が導入されれば、中小事業者の事務負担は膨大に増え、赤字でも納税が求められることになる。それを拒めば経営の継続が困難となり、市内経済にも悪影響をおよぼす。免税が益税でないことは判例でも示されており、中小業者を守るためにも陳情に賛成。

不採択

議案第63号 | 公の施設に係る指定管理者の指定

反対 森川 佳英

9施設での指定管理者を定めるものだが、そのうち桜江ライスセンター・江津市乾燥調製施設については、指定期間がわずか1年でその理由が、施設のあり方について廃止を含めて検討するためとされている。しかし、両施設は農家にとってなくてはならないものであり、廃止が検討されるべきものではない。その観点から、指定期間が1年となっていることは問題であり反対。

賛成 石橋 孝義

江津市乾燥調製施設と桜江ライスセンターの指定期間を1年としていることについては、執行部から「施設の老朽化、使用状況、県内の状況など様々な観点から検証し、施設のあり方や方向性を探るため1年としている。」との説明があり検証についても1年の期間も妥当。その他の施設についても、これまでの管理実績を踏まえ、現在の指定管理者が管理運営を行うことは適切であり賛成。

可決

議案第64号 | 過疎地域持続的発展計画を定めること

反対 多田 伸治

有利な財源ともなる過疎債を活用するために策定する過疎対策の計画案だが、具体性に乏しく、本当に過疎対策として有効なのか疑問がある。過疎債を活用することやそのための計画を策定することには反対しないが、「とりあえず列挙した」という計画では、市民の要望に応えることはできず、借金となる過疎債を濫用するだけになる。計画案は練り直す必要があり反対。

賛成 植田 好雄

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和3年4月1日施行された。過疎地域に指定された本市は、江津市過疎地域持続的発展計画を策定し、有利な地方債などの各種財政支援措置などの活用を図るもの。計画案にない事業は、状況に応じて柔軟に対応するとの答弁もあり、計画案に賛成。

可決

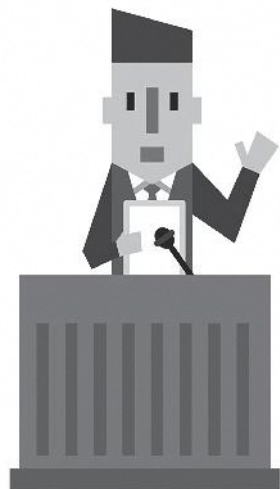
一般質問

市議の

Q & A

市の

A



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

※一般質問の全ての内容は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」から見ることができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

Q

地方自治体財政のあり方は

A

財政規律の健全性を保ち、公債費など注視し施策展開する

Q

国債を中心に積極財政出動を唱える政治家などが増えた。地方財政に大きくかわる国家財政のあり方について市長の考えは。

A

財政出動によるプライマリーバランス先送りなどは、大きな問題は生じないと考えるが、健全な国家財政を保つためのバランスや長期的視点が必要。

【予算編成】

Q

西部統合小学校建設などの大型事業の方針は。

A

今後の児童数の見込み、必要な面積の確保や通学路の安全対策を考慮し、建設地選定を行うが、令和4年度は検討する予算が必要。その他は公債費の平準化など財政状況を見つつ計画的に行う。

【地域経済】

Q

住む人、働く人の所得向上、そして持続可能な地域づくりのために、地元消費のPRなど地域経済循環の仕組みづくりを。

A

人口減少やコロナ過で市内事業者が厳しい状況の中、市外への消費流出も見逃せない。全市民へ配布した3000円分の「ごうつ地域応援券」を利用してもらい、地域経済循環の契機にしたい。



『ごうつ地域応援券』で市内消費拡大へ



森脇 悦朗

Q 里親制度の役割・必要性についての認識は

A 施設よりは里親の家庭的な環境での養育が望まれている



植田 好雄

Q 児童相談所と連携し、里親制度の普及の取り組みを。

A 10月の里親月間にポスター掲示・チラシ配布を行い、ごうつ秋まつりでも児童相談所と一緒にチラシを配布した。子育て支援に関する出前講座も開催している。

Q 宿泊を含むショートステイ事業の導入を。

A 今後検討したい。ニーズ把握など事業実施の課題を整理する。

【公園の整備と拡充】

Q バリアフリートイレ整備を。

A 今後の改修・修繕の際、可能なバリアフリー化を考える。

Q 敬川地区など、公園のない地域での公園整備を。

A 子育て支援施設の少ない地域へ優先的に小公園整備に努める。

Q 障がいのある子もいない子も一緒に楽しめるインクルーシブ遊具の導入を。

A インクルーシブの考え方は重要。遊具の更新時にインクルーシブ遊具の設置を検討し、誰でも安全・快適に遊べる公園となるよう整備する。



菰沢公園

Q これからの本市における学校教育の重点施策は

A 重要施策ばかりだが、特にICTを活用した教育の充実



坂手 洋介

Q 江津市教育大綱における教育ビジョンの認識は。

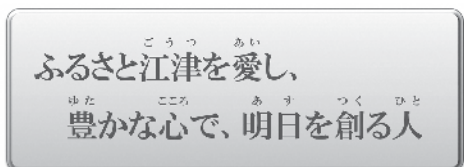
A 「ふるさと江津を愛し、豊かな心で、明日を創る人」を掲げ、学校教育、社会教育および人権・同和教育を通して、誰もがふるさととの伝統文化に親しみながら、自分らしさを発揮し、生涯にわたって心豊かに人生を送ることが出来る地域社会の構築を目指す。

Q 令和3年度の学校における教育環境の整備状況は。

A 江津中学校のエアコン更新、桜江中学校グラウンドの走り幅跳び場の新設、郷田小学校の徒渉プール改修、江津東小学校の古い遊具の撤去など。このほか大小の修繕を行っており、年間で160件を超えている見込み。

Q 学校・地域・家庭の連携のあり方についての認識は。

A 教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校・地域・家庭が共有することが大事だと認識している。現状の取り組みを継続・拡大し、「つながる場」を増やすことにより、目標が共有できると考える。



教育ビジョン

Q 国民スポーツ大会競技誘致の
早急な取り組みを

A 2競技の提案があり、施設・
運営面の課題を早急に協議



田中 直文

Q 2巡目となる国民スポーツ
大会(現在の国民体育大会か
ら改称)が2030年に島根
県で開催される。近隣の市・
町は開催準備を進めている。
時間的余裕のない状況での、
本市と島根県での早急な協
議と方針の決定を。

A 島根県より2競技について開
催地の提案があった。施設や
大会運営などを含めて、開催
には困難な課題があり、県と
鋭意協議し決定する。

Q 【スポーツ振興計画】
生涯スポーツ・競技スポーツ
の推進、学校体育の充実、ス
ポーツ文化の推進を図り、豊
かさを実感できる社会を目
指すスポーツ振興計画を、本
市の上位計画と位置付けて
早急な策定を。

生涯スポーツ・競技スポーツ
の推進、学校体育の充実、ス
ポーツ文化の推進を図り、豊
かさを実感できる社会を目
指すスポーツ振興計画を、本
市の上位計画と位置付けて
早急な策定を。

A 平成27年に策定した社会教
育中期計画の中で、スポーツ
振興に関する内容を取り上げ
ている。その後、意見集約がで
きていないが、計画の見直しを
図りつつ新たな計画の策定に
取り組む。

平成27年に策定した社会教
育中期計画の中で、スポーツ
振興に関する内容を取り上げ
ている。その後、意見集約がで
きていないが、計画の見直しを
図りつつ新たな計画の策定に
取り組む。



昭和57年くにびき国体ハンドボール会場(江津市)

Q 少子・高齢化による人口減少
が地域に与えている影響は

A 地域活動の担い手不足・子育
て・産業や雇用へ影響がある



森川 和英

Q 少子化の取り組みとして、次
世代育成支援対策推進法が制
定されている。法律の内容は。

A 急速な少子化の進行を踏ま
え、次世代の子どもの育成環
境整備を図るため、国や地方
公共団体・企業が一体となっ
て、行動計画を策定するもの。

Q 本市での取り組みは。

A 次世代育成支援行動計画を
策定し、保育サービスの充実
など支援体制の各施策を進め
てきた。新しく策定された子
ども・子育て支援法のもと進
めている。

Q 企業での取り組みは。

A 従業員101人以上の企業に
は、労働者の仕事と子育てに
関する一般事業行動計画策定
が義務付けられたが、100

人以下の企業は努力義務で定
着していない。

Q 子育てサポート企業への『く
るみん』マークの認定状況
は。

A 県内・市内での認定は18社。

Q 本市での奨励金制度の創設は。
島根県の制度を利用してお
り、本市としての創設は考え
ていない。



仕事と子育ての両立

Q 住民の意向を尊重した
江の川治水を

A 流域治水推進室や地元協議会
と協議しながら進める



多田 伸治

Q 江の川治水の住民説明会資

料が住民には配布されてい
ない。資料が手元にないと検
討・相談もできない。住民へ
の資料配布を。

A 情報の錯綜を避けるため、
必要最小限の提供に留めて
いる。

Q 手元に資料がないから錯綜

する。必要最小限ではなく説
明会資料を全て提供すべき
では。

A 流域治水推進室や地元協議
会と協議しながら対応する。

Q 個別移転では住宅補償の査

定が始まっているが、集団移
転ではまだ。補償内容は同じ
なのだから、将来を検討でき
るよう集団移転の査定を早
期実施できないか。

A 地域が集団移転でまともれば
進めたい。

Q 内水対策の常設ポンプは、例

えば渡津町では30億円必要
で、市での整備は無理。国に
求めるほかないが、どう対応
しているのか。

A 江の川減災対策協議会へ、樋
門ごとのポンプ設備や、それ
ともなう樋門のシステム整備
を要望として上げている。



早急な治水対策が求められる(田津地区)

Q 市内の空き家が占める割合は
どうなるのか

A この状態が続けば2060年
には空き家率が50%を超える



山根 兼三郎

Q 空き家調査の結果は。

令和元年の調査では、市内の
住宅総数1万2370棟の
内、空き家は2092棟、空
き家率は16.9%。その内老
朽化の激しい「管理不全な空
き家」は966棟があり、道
路・隣家に近接し危険度が高
い空き家は128棟。

Q 地域ごとの空き家の割合は。

黒松、波積が40%と最も高く、
中山間地域の跡市、有福、谷
住郷、長谷で30%を超える高
い空き家率。これらの地域で
は3棟に1棟以上が空き家と
なっている状況。人口減少は
今後も続くと見込まれ、20
60年での人口は現在の半分
になると推計しており、その
時点で空き家率が50%を超え
ると予想している。

Q 解体への支援が市民要望とし

て高いと思うが、市の考えは。
危険空き家の解体は、空き家
対策計画の策定を要件とし
て、国の空き家対策総合支援
事業による補助金を受けるこ
とができ、また県も補助金を
上乘せして補助する制度があ
る。令和3年度において空き
家対策計画を策定し、解体・
除却に関する支援制度を開始
できるように検討している。



空き家の相談件数が近年増加傾向

Q 魅力を効果的に発信する
ホームページの改善を

A 令和4年度以降、デザイン内
容を更新し、改善する



鍛治 恵巳子

Q パブリックコメントなどの
市民の意見を聴くための工
夫は。

A ホームページ・広報かわらばん
でも案内をしている。公募す
る市の施策・各種計画は資料
のページ量が多いため、概要版
冊子を作成し、わかりやすく
している。

Q ホームページ上でのチャット
ボックスを使つての対応はで
きないか。

A 対応業務などの改善が図れる
ことが期待されるが、予算上
の課題などもあり、導入を見
送っている。ホームページの更
新にあわせて考えていく。

Q ホームページで本市ゆかり
の人や、県外で活動されてい
る方の紹介をし、情報発信の

A サポーターをしていただけ
ないか。
今後新たな取り組みを考え
る。関東・関西・広島の江津
会の方にも相談する。

Q 【有福温泉再生】
プロジェクト会議の中に女
性の視点を。

A プロジェクト会議の中に女性
はいないが、協議には最大19
人が参加し、その中に9人の
女性があり、意見を出されて
いる。



ホームページ



Facebook



YouTube



Instagram

本市の公式 SNS

Q 旧市庁舎の在り方は

A あと何年もつか早い段階で
方向性を示す



石橋 孝義

Q タウンミーティングを受け
ての考えは。

A 残してほしいとの意見がある
が、改修には多額の費用がか
かる。持続可能な市政運営の
確保が第一で検討する。

Q 耐震化について、モダニズム
建築を考慮した上での考え
は。

A モダニズム建築を残すことに
は意義があるが、持続可能な
市政運営の視点では、必ずし
も追及することではない。

Q 市民要望の現実を考慮した
インフラ整備の解決策は。

A 耐震構造調査の結果を公的
機関に評価してもらい、再利
用の可否を判断する。

Q 【連合婦人会】
過去の組織数と現在の参加
数は。

A 以前は22地区の連合組織体
で、現在は8地区の参加と
なる。

Q 組織の改編と連携強化の考
えは。

A 団体で考慮する課題であり、
より良い連携強化を望む。



旧市庁舎

Q

新しい図書館の早期建設を

A

財政を破綻させない範囲でやる必要がある



森川 佳英

Q

江津市図書館・歴史資料館基本構想を策定して10年。新しい図書館建設は、市民の意見を集約して進め実現するのか、それとも建設は断念するのか。

A

市民の意見に寄り添う必要がある。図書館利用者や高校生・中学生・小学生の意見を聴く用意はあるか。建設基本計画は、様々な分野の委員からなる策定委員会で策定された。また、当時は市内の高校生・中学生・小学生へのアンケートも実施した。その計画をもとに推進するが、時期が来れば、改めて市民の意見を聴きたい。

A

早期建設を願っているが、様々な課題がある。図書館建設を求める声があることは知っているが、財政を破綻させない範囲内でやる必要がある。

Q

市民の意見をもっと聴く取り組みが必要ではないか。

A

市民ワークショップ、あるいは2017年の市庁舎改修整備市民説明会のように、きめ細かく市民の意見を聞く場を設けることを考えている。

Q

図書館は市民の文化の拠点施設。建設では、より多くの



おでかけとしょかん

新庁舎前の花壇



国際ソロプチミスト
いわみさんが
お手入れされています。

総務民生委員会閉会中の継続調査

11月10日、桜江中学校を視察しました。新学習指導要領におけるポイントについて、また、コロナ禍における学校の対応について校長先生より説明いただきました。

その後、3学年すべての授業を視察しました。ふるさとキャリア教育の授業では今年度導入されたタブレット端末を用いたプレゼンテーションを行っていました。学校ではコロナ禍という制約の多い中、新しい時代に向けた教育に取り組んでいます。

児童・生徒の学びを促進するために、教育にしっかりと取り組んでいく重要性を改めて感じました。



タブレット端末を用いた授業

江の川流域治水対策特別委員会

11月24日、江の川流域治水対策特別委員会を開催しました。4月に立ち上げられた流域治水推進室のこれまでの事業説明、河川事業による家屋個別移転事業、マスタープランの策定状況、庁内検討委員会の設置、内水排除対策などについて話し合いが行われました。

議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会では現在、市民参加型のフォーラム、議会の動画配信について検討をおこなっています。他市における取り組みの調査、本市における課題点の整理をしています。市民の皆さんにとって、より身近で親しみやすい議会を目指しています。

次回3月定例会

請願・陳情締切／2月17日午前中まで

日	月	火	水	木	金	土
2/13	14	15	16	17	18 委員会 (議会運営) 9:30~	19
20	21 全員協議会 9:30~	22	23	24	25 委員会 (議会運営) 15:00~	26
27	28	3/1 本会議 10:00~	2	3 議員連絡会 9:30~	4	5
6	7 本会議 (一般質問) 10:00~	8 本会議 (一般質問) 10:00~	9 委員会 (総務民生) 13:30~	10 委員会 (建設経済) 9:30~	11 委員会 (予算決算) 9:30~	12
13	14 委員会 (予算決算) 9:30~	15 委員会 (予算決算) 9:30~	16 情報交換会 9:30~	17	18 本会議 14:00~	19

※開始時間等は予定です。

議会を傍聴しよう
江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議場へお越しください。

議会へ参加しよう
市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

■編集・発行責任者

議長 永岡 静馬

■市議会だより編集特別委員会

委員長 鍛冶 恵巳子

副委員長 坂手 洋介

委員 植田 好雄

委員 多田 伸治

委員 山根 兼三郎

委員 森脇 悦朗

委員 河野 正行

市議会だよりは
こちらから



(鍛冶 恵巳子)

令和4年は市議会議員・市長選挙があります。マスク選挙になるので、うか。人と人との関わりが温かい江津らしさを取り戻せますように。

しかしながら医療や介護に従事される方の緊張感や疲労の蓄積は増し、病院や様々な施設での面会の規制で、容易に人の顔を見て言葉を交わすこともできません。この時代を乗り越えるためにも、マスク・消毒・三密回避は継続していかなくてはならないことだと思っています。

まちも少しづつ元気を取り戻しているように感じます。コロナ禍で結婚式の先送りはあるものの、周囲では結婚やご懐妊と明るいニュースも聞かれます。

編集後記